

1. 題材名 金銭の計算（実務）

2. 本時のめあて 非常用持ち出し袋に入れる防災グッズを予算内で購入しよう。

3. 学習計画（5時間）

時	学習内容
1次	筆算を使つての金銭の計算（合計金額やおつりの計算）を行う。
2次	消費税を含んだ金額の求め方を知り、計算機器を用いて計算する。
3次	四捨五入、切り上げ、切り下げの意味を理解する。
4次（本時）	予算内に収まるように商品を選択し、概数を用いて合計金額を計算する。
5次	目的に応じて値段を概数に表し、計算をする。

4. 本時案

学習活動	教師の意図と働きかけ	評価の視点
1. 学習内容、課題を知り、見通しをもつ。	・前時の復習をし、使用する教材を提示して、期待感が持てるようにする。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【課題】 5000円の予算で非常用持ち出し袋の中身を買うにはどうしたらよいか。 </div>		
2. 指定された商品を選んで立式し、合計金額を計算する。	・正しく立式、解答できているか確認する。 ・落ち着いて計算できるよう言葉掛けをする。	○文章題に即して立式しているか観察する。
3. 非常用持ち出し袋に入れる商品を選んで値段を表に書き、計算する。	・非常用持ち出し袋の中身に何が必要なのかを考えるように言葉掛けする。 ・概数を使用した計算と実際の値段の合計のどちらが早くできたかを尋ねる。	○既習の計算を基に、筆算を使って答えを求めているか。
4. 合計金額が予算を超えていないか確かめる。	・合計金額と予算額を比べて、予算額を超えていた場合はどの商品を買わないか選び直すように伝える。	○商品の値段を概数で表したり、合計金額を計算したりして、予算内での買い物計画を立てることができる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【まとめ】 概数を用いて合計金額を計算することにより、予算内での買い物計画をたてることができる。 </div>		